

TOPICS

VOL.244

代表・特定社会保険労務士 山口 徹実

社会保険労務士 倉井 舞

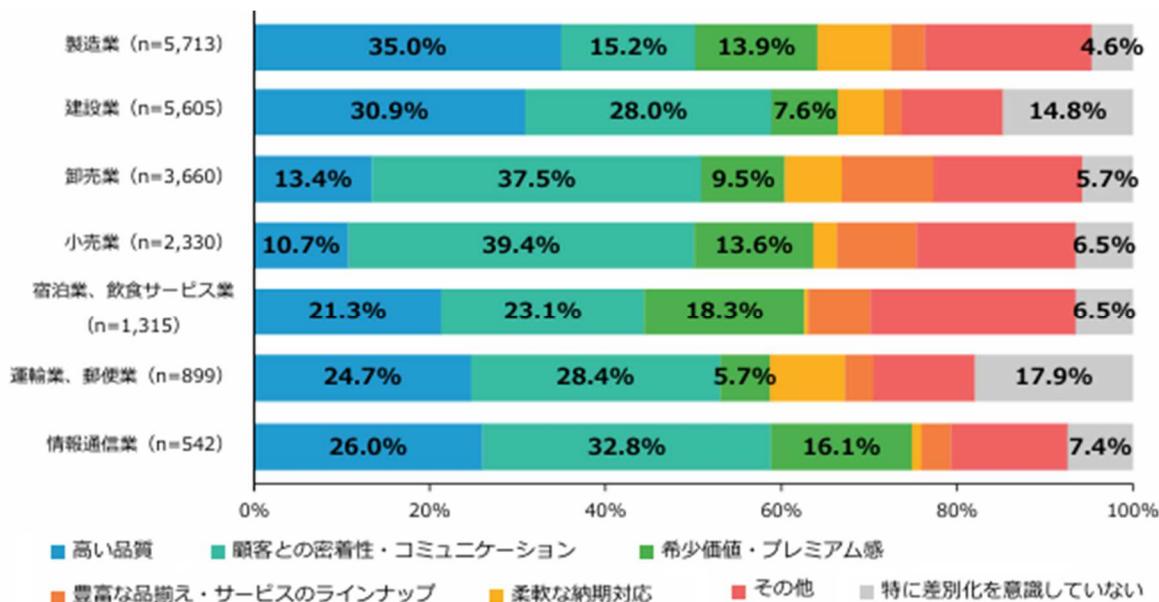
URL : co-js.com E-mail : info@co-js.com TEL 028-902-1500 FAX 028-601-7024

■■「2025年版 中小企業白書」から no2 ■■

前月号から引き続き、「2025年版中小企業白書」からその内容の一部をレポートします。なお詳細につきましては、中小企業庁のHPをご参照ください。

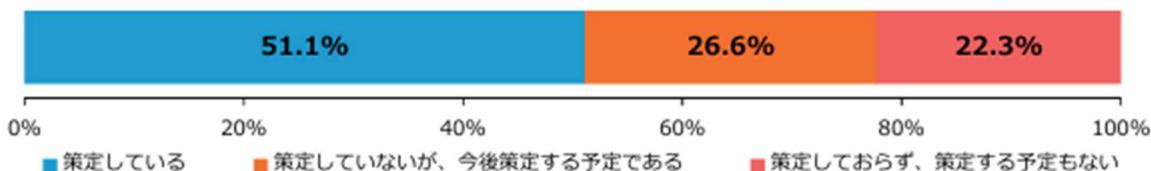
1. 製品・商品・サービスで最も重視する差別化要素

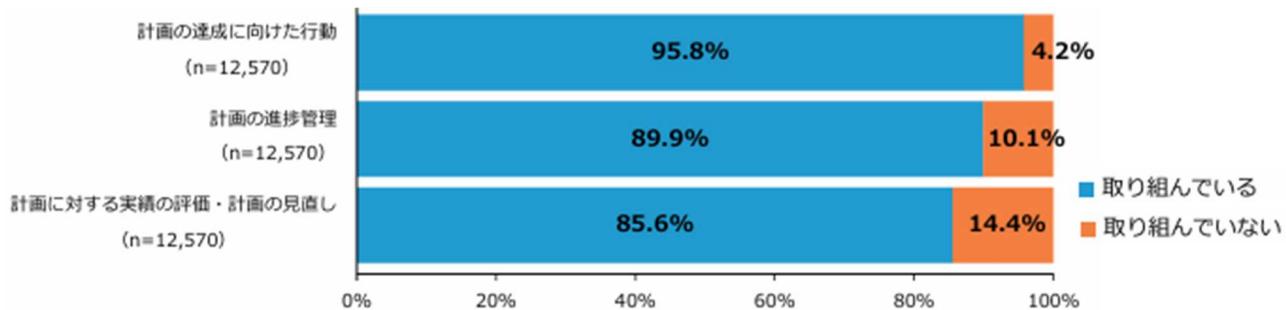
「顧客との密着性・コミュニケーション」を重視しているという回答割合が最も高く、次いで「高い品質」、「希少価値・プレミアム感」と続く。中小企業の経営力を高めるためには、自社のリソースと外部環境の分析をベースとした経営戦略の立案が求められている。



2. 経営計画の策定状況

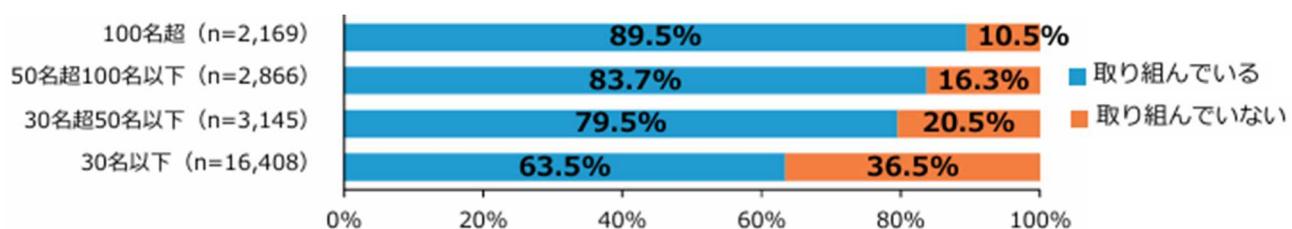
経営戦略を実現するための経営計画を約半数が策定しており、高い割合で達成に向けた行動などへ取り組んでいることがわかる。





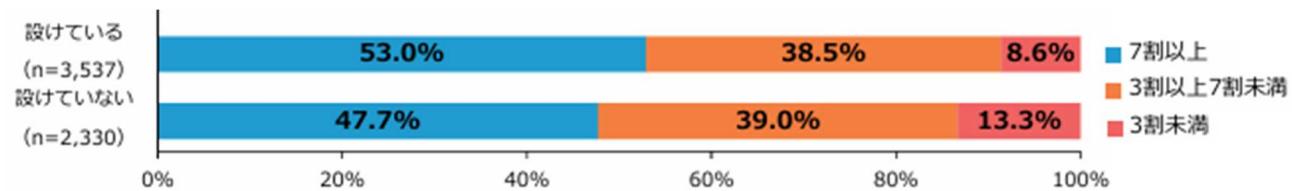
3. 従業員への経営理念・ビジョンの共有化

従業員規模が大きくなるほど組織運営の透明化が進んでいる。従業員数が増えるほど、経営者自らが従業員に経営理念を理解・浸透させることへの取組を行っている可能性がある。



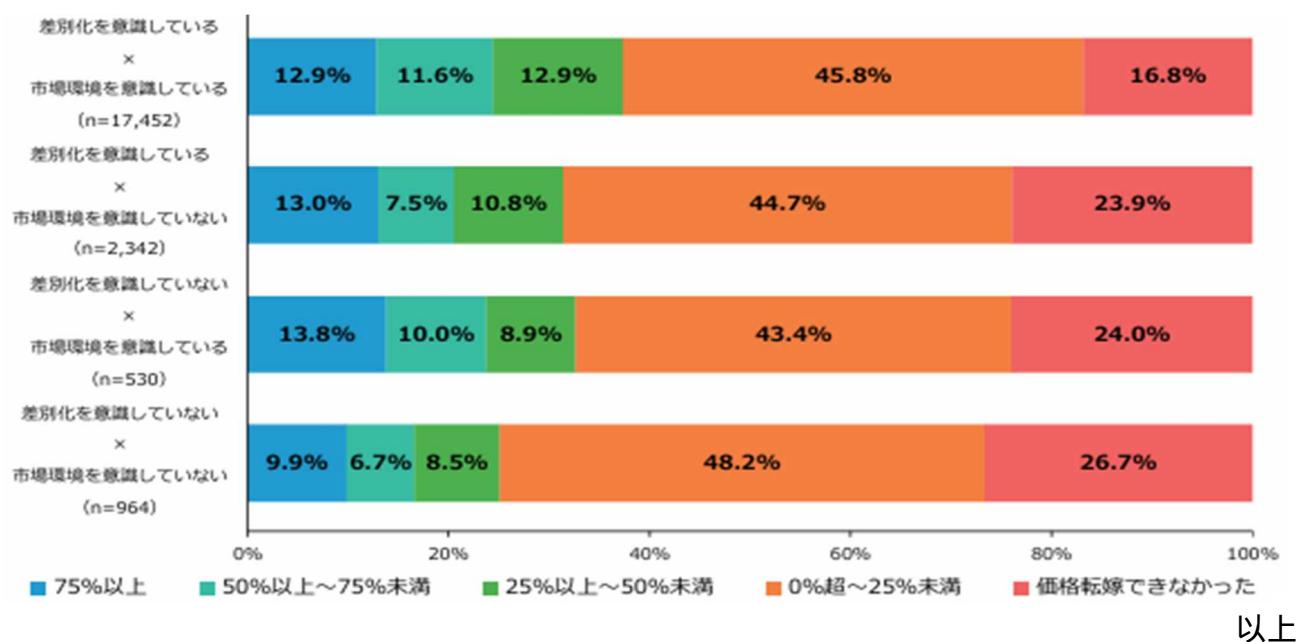
4. 従業員100名以下の事業所における人事評価と定着率との相関

人事評価を設けていない事業者よりも設けている事業者の方が定着率は高い。明確・公正な人事評価制度により、従業員における評価に対する納得感が高まるのではないか。



5. 価格転嫁の状況

「差別化と市場環境」の両方を意識している事業者は、価格転嫁が進んでいる傾向にある。又、競合他社、仕入構造などの市場環境を意識することが価格転嫁につながるようだ。



以上